

水稲用初・中期一発処理除草剤

バットウZ[®]

1キロ粒剤



クログワイ



ホタルイ



オモダカ

クログワイ・抵抗性ホタルイ・
オモダカなどの
難防除雑草に安定の効果！

難防除雑草に加え、畦畔から侵入するイボクサや、
3葉期まで成長したノビエにも高い防除効果を発揮します。

- 難防除雑草や畦畔から侵入する雑草の防除に高い効果を発揮。
- 省力的な田植同時散布が可能。
- 3つの有効成分が効く。

① ピラクロニル ② プロピリスルフロン ③ ベンゾビシクロン

バットウZ[®] 1キロ粒剤

○難防除雑草や畦畔から侵入する雑草の防除に高い効果を発揮。

○省力的な田植同時散布が可能。

○3つの有効成分が効く。①ピラクロニル ②プロピリスルフロ ③ベンゾピシクロ

適用と使用方法

2021年2月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機に よる散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミズガヤツリ	草丈20cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	発生始期
クログワイ	発生前から 発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生始期

ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロピリスルフロを含む農薬の総使用回数	2回以内	ベンゾピシクロを含む農薬の総使用回数	3回以内
-------------------	------	---------------------	------	--------------------	------

上手な使い方〔散布量／10a当り1kg (1袋)〕

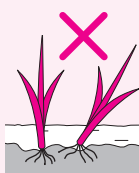
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



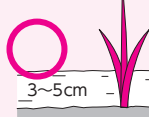
移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後の注意!

散布3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - ①散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
- ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。
- ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空き袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R3C21B125:HP

2021年3月作成 (博報堂プロダクツ)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
sca GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

